

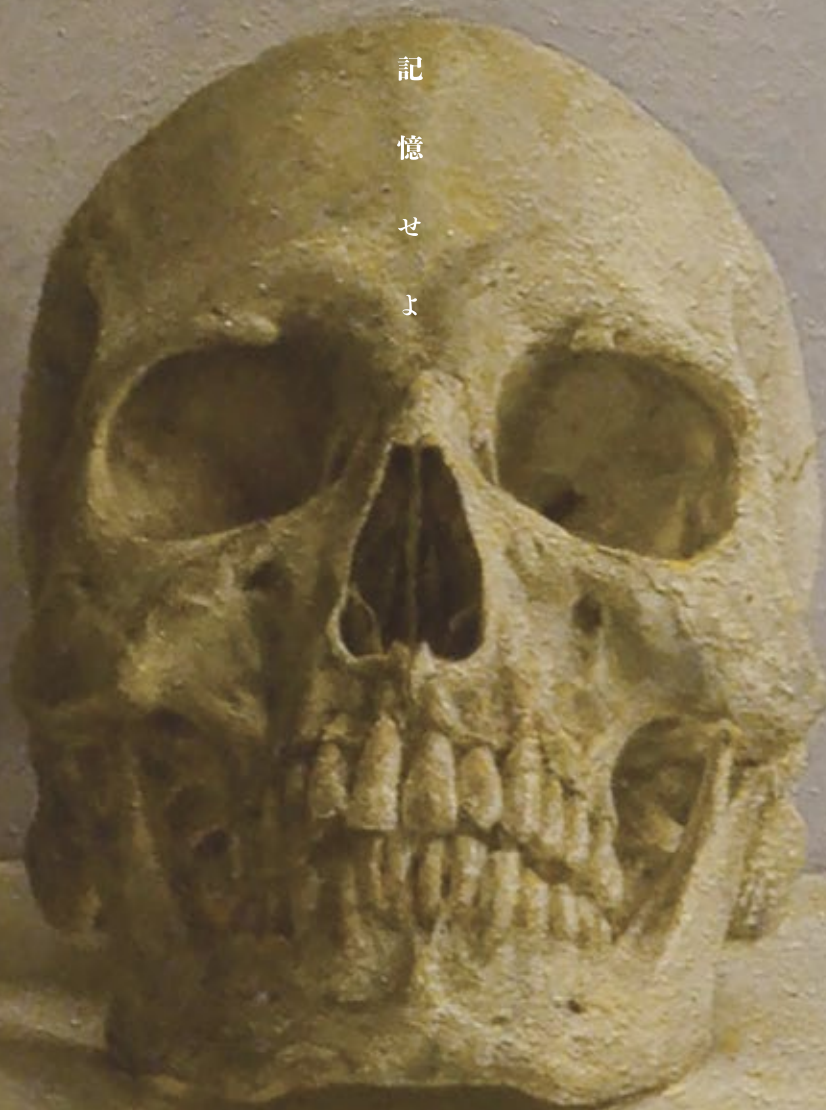
Ichi Orihara Collection
折原一コレクション

memento mori

メメント・モリ

- 死の部屋、そして黙の部屋 -

死
を
記
憶
せ
よ



2018.10.3Wed.-10.21Sun.

入場料1,000円(パンフレット付)展示室AB共通 平日12:00~19:00 土日祝12:00~17:00 会期中無休

ミステリ作家 折原一の驚異のヴァニタス・コレクション 沈黙と、死の部屋。解禁。

折原一コレクション Ichi Orihara Collection

メメント・モリ

- 死の部屋、そして黙の部屋 -

2018.10.3Wed.-10.21Sun.

展示室A:ヴァニタスコレクション 展示室B 石田黙コレクション
入場料1,000円(パンフレット付) 平日12:00~19:00 土日祝12:00~17:00 会期中無休



銀座4丁目、今はなき文春画廊の地下1階にひとときワグな空間が広がっていた。私はそこで石田黙展(2007年)と骸骨絵展(2011年)の2つのコレクション展を開き、一部の熱狂的な愛好家に支持していただいた。

石田黙は1970年代の数年間、死の世界を思わせる黒と白の幻想的な絵をひたすら描き、80年代の初め、静かにこの世を去っていった。世間的にはほとんど無名だが、確かな画力を持ち、その静謐な世界に魅力を感じる人は多い。一方の骸骨絵展は、収集のきっかけとなったビュッフェの作品から始まり、三浦明範の祭壇画、古吉弘のヴァニタス画、アメリカの死刑囚ジョン・ウェイン・ゲイシーのビエロ画に至るまで、広い意味で死を暗示する展示会だった。

その最後の展示から7年がたち、2つのコレクション展をもう一度見たいという要望が出てきた。そこで、このたび、同じ銀座のヴァニラ画廊にて2つの展示会を合体させ、新たに加わったコレクションを加えて、よりダークな展示会を開くことになった。地下2階の薄暗い空間に広がる「生と死の境目」に身をおいて、生のはかなさ、空しさを体感してほしい。(折原一)

チラシ表画:松永瑠利子、チラシ裏面左上から大川心平、山本タカト、中嶋清八、ジョン・ウェイン・ゲイシー、財田翔梧
左中央:玉川麻衣、左下:石田黙



【出品作家 展示室A:ヴァニタス】浅野信二/浅原聡/飛鳥部勝則/池田満寿夫/イザチアキコ/因幡都頼/宇野阿喜良/大川心平/大里俊吾/小田隆/小山田二郎
加藤清美/鎌谷徹太郎/亀井徹/柄澤齊/川上勉/北野武/北見隆/合田佐和子/財田翔梧/三枝久人/篠田教夫/嶋根幸延/ジョン・W・ゲイシー/白藤さえ子/菅原優
平良志季/高橋美貴/高橋良/建石修志/田中武/田中正弘/谷神健二/玉川麻衣/中嶋清八/成田朱希/春口光義/ビュッフェ/フジイランソワ/藤野級井/古吉弘
星山耕太郎/前田正憲/松永瑠利子/丸岡和吾/三浦明範/水口理恵子/三輪修/目黒礼子/山科理絵/山高徹/山本タカト/ヨシダシオリ(予定)

【展示室B:黙の部屋 石田黙】

折原一 プロフィール:埼玉県生まれ。早稲田大学卒。JTBの出版部門を経て、1988年『五つの棺』(東京創元社)で作家デビュー。1995年、『沈黙の教室』(早川書房)で日本推理作家協会賞受賞。20年ほど前から仕事場を飾るための美術品の収集を始める。趣味が昂じて幻の画家・石田黙をテーマにした美術ミステリー『黙の部屋』(文藝春秋)を書き、文藝春秋画廊地下にて「石田黙展」を開く。

主な著作:『倒錯のロンド』(講談社文庫)『異人たちの館』(文春文庫)『暗闇の教室』(ハヤカワ文庫)『グランドマンション』(光文社文庫)など。

ヴァニラ画廊
Vanilla Gallery

TEL 03-5568-1233 www.vanilla-gallery.com
東京都中央区銀座 8-10-7 東成ビル地下2F 〒104-0061

新橋駅(JR) 銀座出口徒歩 8分 銀座駅(地下鉄)A3 出口徒歩 9分
新橋駅(地下鉄)1 番出口徒歩 5分

